

トレーニングマシンは メンテナンスが命!



Vol.21 「トレーニングマシンのメンテナンス ~錆の対処方法~」

THINKフィットネス メンテナンスチーム

前回、錆が発生する原因と対処方法をご説明させていただきましたが、今回からはトレーニング器具で発生する錆の具体的な対処方法を説明していきたいと思えます。

■ダンベルの錆

ダンベルやシャフトは主に手で直接触れるグリップ部分が腐食します。前回ご説明したように、錆は金属の表面に水分が付着することにより発生します。つまりグリップ部を触ることにより手の汗が付着し、さらに塩分の影響でより錆の発生が促進されてしまいます。

基本的にダンベルやシャフトのグリップ部はクローム加工や酸化被膜の形成により防錆加工が施されていますが、繰り返し使用することによる摩擦により、どうしても錆は発生します。定期的にメンテナンスを行うことで錆の除去と発生を遅らせることが可能です。

■錆の除去

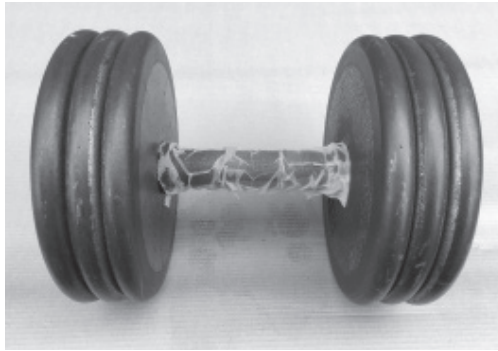
今回は摩擦等により酸化被膜(防錆のコーティング)等表面処理の効果が薄れ、ひどい錆が発生しているダンベルや、表面処理が施されていないダンベルを対象に錆の除去と防錆処理を施す例を紹介いたします。表面処理がしっかりと保たれているものに研磨剤や錆除去液をつけると表面処理が落ち、逆効果になる可能性がありますので注意しましょう。

基本的に錆をとるには除去液や研磨剤を使用しますが今回は除去液を使用した錆取り方法をご紹介します。

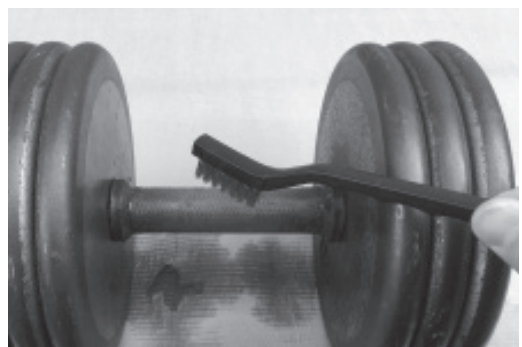
除去液を使用する際は必ず裏面にある注意事項を確認しましょう。



まず除去液は対象箇所へ浸透させて錆を溶解します。グリップ部に布やティッシュをあてて除去液をつけると効率良く浸透していきます。



10分程放置し、浸透させたら柔らかいワイヤーブラシで擦ります。



錆が落ちたら水で洗い流すか濡れた雑巾等で拭き取ります。除去液は残ってしまつことがないようしっかりと洗い流しましょう。



錆の除去が完了したら次に錆止め処理を行います。今回はKUREの長期防錆スプレーを使用します。

ウエスをあてて周辺への飛び散りに注意しながら20センチ程離して吹きかけます。



余分に付着した際はウエスで拭き取り、全体に均等に付着するようにします。錆止め剤を塗布したら必ず3〜4時間放置し最後にウエスですっきりと拭きとりましょう。乾燥時間が不十分だと防錆剤が手に付き手荒れ等の原因となつてしまいます。

錆除去剤と防錆スプレーは非常に多くの種類があります。ものにより使用方法、用途が異なりますので、しっかりと注意事項を確認してから作業を行きましょう。次回は別の方法での錆取りをご紹介します。

総合フィットネス企業

**THINK
FITNESS**

トレーニングマシンのメンテナンスのことなら

シート張り替え・保守点検・中古買い取りも承ります

☎0800-300-3005 ☎03-3645-9801 東京メトロ東西線「南砂町」駅西口徒歩3分 東京都江東区南砂3-3-6 共同倉庫内
[営業時間]月~土 9:30~18:00 ※日曜、祝日は休館日となります。